

令和5年度 事業者向け 児童発達支援自己評価表 チルハピスポーツ長町教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	スタッフより意見	今後の改善点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	0	0		
	②	職員の配置数は適切であるか	0	3	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	3	0	手洗い場に高さがあるため手すりや昇降台があると使いやすくなる	・昇降台の購入を検討します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	2	0		・清掃、消毒を心がけていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	0	0	先週先月の振り返りや毎週の目標を共有できている	・短い時間でも情報が共有できるように時間の確保をします。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1	0		・評価表の結果を共有し、改善策を検討する時間を確保します。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所等の開放やホームページ等で公開しているか	3	0	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、結果評価を業務改善につなげているか	0	2	1		・検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	0	ひよこグループ勉強会や虐待防止研修などを行っている	・研修を受けられるよう、日程を調整し時間を確保します。 ・研修を受けた職員からの伝達講習をしていきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	3	0	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを活用しているか	3	0	0		
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	0		・個に応じた支援計画が作成できるように検討していきます。
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	2	1	0		・毎月の支援内容を考案する際に、個に合わせた支援もできるように話し合いの時間を設けます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	0	月末に来月の活動を話し合い決めることができている	・チーム全体で支援に携わっているよう、今後も話し合いの時間を確保します。
適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	0	0	他事業所での活動も参考にしながら自分らしい考えを活動に取り入れて行っている	・同じプログラムでも利用児童に合わせて変更していけるよう、柔軟な対応ができる体制を整えていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	3	0	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	0		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	0	その日に起こったことや児童の状況を当日または翌日にスタッフ間で共有している	・些細な事でも共有、相談できる時間を確保します。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	0		・児童の様子や支援の内容を振り返り、改善すべき点を検討していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	0	3	0	今後個別面談を行っていき保護者のニーズを聞き取りながら4月に向けて新しい個別支援計画を作成する	・各自の資格を生かし、専門性のあるモニタリングができるよう、日々、意見交換していきます。

関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	0	3	0		・担当者会議の報告を職員にしています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	0	0		・チームアプローチとして連携を図っていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	0	送迎の際に先生から申し送りとして今日の様子や最近の状況などの情報共有を行う	・これからも関係機関として情報を共有できるようにしていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	0	送迎の際に先生から申し送りとして今日の様子や最近の状況などの情報共有を行う	・これからも関係機関として情報を共有できるようにしていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	0	虐待研修や交通安全教室など外部の方から研修を受けている	・研修の情報を提供し参加できるよう検討していきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	0	0	3		・今後検討をしていきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	0	3		・今後検討をしていきます。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	0	帰宅時の送迎の際今日の様子や最近の状況を共有している。また連絡帳を通して保護者から子供の様子の確認をし	・全職員、同じ対応ができるよう、共有する時間の確保や申し送りノートなどの活用をしています。
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	3		・保護者支援に関する研修の参加を検討していきます。	
保護者への説明責任等	㉜	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	3	0	0		・職員間で情報の差が出ないように共有、確認をしています。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	0	0		・今後も保護者様に丁寧に説明をしていきます。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	0		・保護者様支援として、丁寧に話を聞き、記録もしておくようにしている。相談内容は職員間共有して行きます。
	㉟	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	3		・要望があれば検討していきます。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	0		・正確な情報を確認し、丁寧に対応していきます。職員間での情報共有もし、再発防止策を講じます。
	㊲	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	0		
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	0	0	鍵付きのロッカーへ個人情報ファイルを保管 SNS等での写真を掲示する時の許可を得ている児童であるかの確認	・今後も十分に気をつけていきます。
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	0		・職員の対応にずれが出ないように、都度確認をしています。
㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	3		・これから状況を見て検討していきます。	

非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	0	0		・各種マニュアルの内容を職員と確認し、保護者様にも説明できるようにしていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	0	2	1	避難訓練の実施がまだできていない	・避難訓練の計画を立て、実施していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3	0	0	アレルギーの持つ児童やてんかんの児童の把握をしている	・服薬の変更など保護者様からの情報を共有していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	0		・おやつ準備の際に再度確認をしていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	0		・ヒヤリとしたことをすぐに上げて、情報を共有して、対策、改善策を話し合っていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	0	虐待防止研修を行っている	・日々の支援の中で、職員間で話し合えるようにしていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	3	0	0		・具体的にどのようなことが身体拘束や行動制限になるのかを職員間で話し合い確認をしていきます。